



平成 29 年 6 月 19 日

各 位

会 社 名 日東化工株式会社  
代表者名 取締役社長 荒川 良平  
(コード番号：5104、東証第二部)  
問合せ先 管理部長 永井 敦  
(TEL. 0467-74-3111)

## 新中期経営計画について

# SCRUM70

日東化工株式会社（本社：神奈川県高座郡寒川町一之宮、社長：荒川良平）は、当社の新たな経営目標と将来に向けた進むべき方針である 2017 年度を初年度とした 3 カ年の新中期経営計画を策定致しましたのでご報告申し上げます。

### 【中期経営計画策定の背景】

当社を取り巻く事業環境は、自動車関連需要を中心とした国内市場の変動、縮小等により年々厳しさを増しております。このような状況の下、収益力及び財務体質の強化を図るため、2015 年 5 月に「事業構造改革プロジェクト」を設置し、収益構造を改善すべく検討を進め、同年 9 月に策定した「事業構造改革に関する基本方針」に基づき計画を推進してまいりました。

2017 年 3 月期においては、事業構造改革を推進してきた効果に加え、原材料価格の低位安定による影響も追い風となり、当初の目標を上回ることができました。

このような中で、当社は成長し続ける企業を目指し、今後予想される事業環境の動向を前提に、2017 年度～2019 年度（2017 年 4 月～2020 年 3 月）の新中期経営計画（SCRUM70）を策定いたしました。

新中期経営計画期間においては、企業における社会的責任の重要性に対応し、経営課題の解決に向け取り組み、企業価値向上を目指し成長し続ける日東化工をつくり、世の中に貢献してまいります。

### 経営課題を取り巻く環境

- 企業における社会的責任の重要性の増大
- ◎情報スピードアップに伴う経営環境変化
- ◎継続企業の前提に基づくリスク管理体制の重要性
- ◎法令遵守と環境意識の世の中の高まり
- ◎ダイバーシティ経営による企業価値向上

### 課 題

- クリーンな経営の実行
- 継続的に成長する体制づくり
- 安全第一、健康経営の取り組み
- 環境、社会への貢献
- 人材育成と活用



社会

働き方改革、人材活用 CSR 推進

環境

環境に配慮した製造、販売

統治

ガバナンス強化、法令遵守

2019  
達成

Safety Change Challenge & Compliance Running Unite Muscular

## 【新中期経営計画の概要】

### 1. 基本方針

新中期計画期間では、「筋肉質な事業構造への変革」を基本方針として、2019年の先を見据えた成長・飛躍に向け、より強い企業体質を確立するための基盤強化に取り組みます。

重点施策として、「モノづくり力の強化」「高付加価値製品の拡大」「財務体質の向上」「コンプライアンスの徹底」への取り組み、成長への加速を図ってまいります。

### 《経営目標》

項目	2016年度	2019年度 (計画)	増減
売上高	7,949百万円	8,000百万円	+50百万円
(うち高付加価値 製品売上高)	(1,300百万円)	(1,600百万円)	(+300百万円)
営業利益	315百万円	400百万円	+84百万円
経常利益	305百万円	390百万円	+85百万円
ROA	4.7%	5.7%	+1.0point
ROIC	5.1%	7.0%	+1.9point

## 【売上高・営業利益推移】

(単位：百万円)



## 2. セグメント別目標

### (1) ゴム事業（ゴムコンパウンド、ゴムシート・マット、ゴム成形品）

項目	2016年度	2019年度 (計画)	増減
売上高	5,741百万円	5,770百万円	+28百万円
営業利益	249百万円	315百万円	+65百万円

汎用品から高付加価値品への転換を推し進めるため、次世代の柱になるべく新商品の開発を行います。徹底した生産性向上を図り、より安定した生産力とコスト競争力の強化を推進します。

### (2) 樹脂事業（高機能樹脂コンパウンド、樹脂洗浄剤等）

項目	2016年度	2019年度 (計画)	増減
売上高	2,178百万円	2,200百万円	+21百万円
営業利益	77百万円	100百万円	+22百万円

お客様の要望に合致したカスタム商品を鋭意開発し、お客様のソリューションに貢献します。また販路を国内に留まらずアジアを中心とした海外市場に広げ、積極的に販路開拓を行っていきます。引き続き構造改革を推進し、更なる生産性向上を図りコスト競争力を強化します。

## 3. 設備投資

既存設備の維持・保守に加え、合理化・省エネ化投資を重点的に行ってまいります。また、新商品立ち上げに向けた設備の導入、工程・設備の集約による生産効率のアップを含め、3年間で総額約1,600百万円の設備投資を行なってまいります。尚、減価償却費は3年間で総額約900百万円を見込んでおります。

### ◎主な設備投資アイテム

ゴム事業：約1,300百万円

設備の自動化に向けた装置の設置、環境対応設備改良、  
新商品立ち上げのための新設備の設置、及び生産維持投資

樹脂事業：約300百万円

生産性向上に向けた設備改良と自動化設備の設置、及び生産維持投資

## 4. 経営基盤強化

### 4-1 経営基盤を取り巻く環境への対応

\* 企業としての社会的責任の拡大を図る

(1) 経営環境変化への素早い対応

(2) リスク管理体制づくり

(3) 法令遵守と環境意識の世の中の高まりに対する対応

(4) ダイバーシティ経営による企業価値向上

#### 4-2 持続する成長と企業発展のための取り組み

##### (1) 社会との関わり

働き方改革と広い人材活用を目指し、社会への貢献とCSRを推進する。

##### (2) 環境への取り組み

環境に配慮した製造と販売を行い、事業運営において環境負荷物質低減に取り組む。

##### (3) 企業統治

コンプライアンスの徹底、ガバナンス強化に取り組み、企業としての収益力を強化する。

#### 4-3 社会から信頼される活動

##### (1) 労働安全活動

現場密着型安全衛生活動を実施していくことにより、労働災害ゼロを目指す。

##### (2) 環境活動

環境、資源に配慮したモノづくりを行い、地球温暖化防止、省資源、モノづくりの安全性、快適性を追求し、環境配慮を推進する。

##### (3) 品質保証

先取り活動と品質保証体制の整備を行い、お客様に安心・安全をお届けできる企業を目指す。

#### 4-4 財務体質向上に向けた取り組み

自己資本比率を高め、過去に発生した予期せぬいかなる非常事態も乗り越えられる強い経営基盤をつくるための取り組みを強化する。

#### 4-5 人材育成

継続企業と発展の為、次世代を担うリーダーの養成を研修を通して行い、また、社会的要請への充足とし、女性の活躍推進、ワークライフバランスの推進、障害者雇用の促進、高齢者雇用への取り組みを推進する。

以上